

2 四日市・楠楽友協会第6回演奏会を楠福祉会館大ホールにて開催！

9月13日（日）、「輝く楠 バロック音楽の響き」と題した四日市・楠楽友協会第6回演奏会が楠福祉会館大ホールにおいて開催されました。早いもので第6回となりました。これも地元の皆さん、楠町商工会、楠地区まちづくり協議会およびチケット取扱いの楠スポーツクラブの方々のご協力の賜物であります。それからなんといっても活動本体の楠グリーンテニスクラブ員のボランティア精神に負うところ大であります。

今回は、バロック音楽というテーマでなじみのない方も多くいらしたのではないかと観客数の心配をしていましたが、ふたを開けてみましたところ、昨年同様200名近いお客様を迎えることができて、喜んでおります。チケット販売には地元の多くの方の協力がありました。感謝です。

演奏曲目、出演者：詳しくはプログラムをご覧ください。

第1部 バロック音楽の響き

バッハ、ヴィヴァルディ、ヘンデル、カルダーラ、コレッリの作品から

お話し：音楽監督 東川文治

チェロ：高橋弘治 ヴァイオリン：清水里佳子 チェンバロ：織田寛子 オルガン：高取紀衣

アルト：東川恭子 ソプラノ：山口光子

第2部 ヘンデル オラトリオ「メサイア」第1部、第2部より

「メサイア」第1部から10曲

「メサイア」第2部から7曲

指揮：高橋弘治 ソプラノ：山口光子 アルト：東川恭子

ヴァイオリン：清水里佳子 チェンバロ：織田寛子 オルガン：高取紀衣

合唱：四日市シンフォニックコーラス 発声指導：稲向裕子 取り纏め：小原 涼

字幕：草香貞子 アナウンス：鈴木雅子





チェロ、チェンバロと共演で、カルダーラ作曲
「ああ、愛しい貴方のための痛みに、心が遠のき」をリハーサル



コレリ作曲「ヴァイオリンと通奏低音のためのソナタ作品5の12」より・・・
をヴァイオリンとチェンバロでリハーサル 通奏低音はバロック音楽の特徴です



第2部のヘンデル作曲オラトリオ「メサイア」第1部、第2部の抜粋をリハーサル中
バロック音楽の響きを伝えようと熱が入っています



一方、ロビーでは観客に楠地区のまちづくりの活動状況を伝えようと、パネル展示が
行われました。楠地区を活気ある町にしたいとの思いがあふれています。
ホームページ「楠まちづくりコミュニティ」で確認できますよ。



ロビー受付では、まだ受付嬢が来ていないので、スタッフがプログラムに関連
演奏会のチラシを黙々と挟み込み中です。ご苦労様です！



揃いのユニフォームを身に付けて、受付嬢が到着。でもこの写真はちょっと昔の
写真です。このイメージでお客さんをお迎えしました。ピース！



いよいよ本番開始です。アナウンスのあと、字幕係スタンバイに続き、第1部1曲目の演奏です。バッハ作曲「無伴奏チェロ組曲第1番」長調BWV1007より、チェロの響きをお届けしました。集中する観客の視線を感じますね。



第1部では、音楽監督からバロック音楽および演奏曲について、分かりやすい解説が行われました。観客の皆さんもバロック時代の音楽について理解が深まったのでは



第2部のヘンデル作曲オラトリオ「メサイア」の第1部、第2部抜粋の演奏開始です。ヴァイオリン、チェンバロ、オルガンとバッハ、ヘンデルの時代の響きのもと、「ハレルヤ」が高らかに歌われました。あなたも歌いたくなりませんでしたか？



第2部の合唱曲「見よ、世の罪を取り除く神の子羊」に続いて、アルト独唱「彼は侮られて」に聴き入る観客



第1部、第2部の演奏を終わり、アンコール曲として「見上げてごらん、夜の星を」を観客の皆さんと一緒に歌いました。最後に「ハレルヤコーラス」をもう一度歌って演奏会を終りました。観客の皆さん、お疲れさまでした！